

# ピースあいち 2026年夏 戦争体験を聴くシリーズ

開催日 8月/	語り手	テーマ・内容
1日 (土)	橋本 克巳さん	満蒙開拓団/1942年、家族7人で満州開拓団に入植。厳しい自然環境での生活、敗戦後、肉親を亡くし、孤児となる。
4日 (火)	大山 妙子さん	叔父伯母が私に遺した長崎原爆のこと/父方の伯母・叔父から語り継がれたこと。母方の祖母・叔母そして母の手記を見出して。
5日 (水)	富田 祥子さん	3歳児の朝鮮からの引き揚げ/1945年、8月15日から3日後、祖母、母、妹の4人(父親出征中)で、現在の北朝鮮から日本に帰るまで。
6日 (木)	佐々木陽子さん	ヒロシマの記憶 ~私の家族、そして、丸木位里・俊の話~/父が見た黒い人達の記憶、祖母が残した「祖父との最期の5日間」の記録。そして丸木位里・俊夫妻の足跡をたどる。
7日 (金)	野村 秀夫さん	10歳少年の引き揚げ体験を語り継ぐ/朝鮮半島で生まれた日本人少年は、混乱の中どうやって38度線を超えたのか? 過酷な体験を語り継ぐ。
8日 (土)	井戸 早苗さん	空襲下の暮らし・戦後の暮らし/空襲警報が鳴るたびに母は町内の防災にかりだされ、兄は集団疎開していて私はたった一人で町内の防空壕に向かいました。心細く不安な日々でした。
11日 (火)	津田さゑ子さん	名古屋空襲・戦時下の暮らし/国民学校1年生時、空襲で家屋を焼失。岩倉に引っ越し、終戦を迎える。戦時下・戦後の生活。
12日 (水)	中村 桂子さん	娘が語り継ぐ父の沖縄戦/父は兵士として沖縄戦を戦い、悲惨な状況の中を生き延びた。その体験を語り継ぐ。
13日 (木)	高山 孝子さん	岡崎市に縁故疎開、岡崎空襲を遠望/1945年、国民学校4年時、兵庫県から岡崎市に疎開、7月の岡崎空襲を遠望、戦時下、戦後の生活について。
14日 (金)	松下 哲子さん	満州-奉天からの引き揚げ/1934年奉天で出生。終戦前後の満州での生活、引き揚げ。
15日 (土)	大橋 麻由さん	満蒙開拓を語り継ぐ ~岩見鈴子さんの戦争~/大陸を渡った人々がたどった過酷な人生とは? 戦後も中国に残留、その後帰国したある女性の半生を語り継ぐ。

毎年行っている「ピースあいち夏の戦争体験を聴くシリーズ」。今年もピースあいち1階交流のひろばで開催します。また、オンライン配信も行います。お話するのはピースあいち「戦争体験を語り継ぐ会」のメンバーです。

## ●開催場所

ピースあいち1階交流のひろば

## ●開催時間 14:00~15:00

## ●参加費(入館料で参加いただけます)

大人300円 小中高生100円

\*この期間夏の特別展を開催しています。

特別展入場料 大人800円 小中高生200円  
(入館料含む)でも参加いただけます。

## ●定員・申し込み

各日とも定員40人。要電話予約

ピースあいち事務局へお申し込みください。

☎ 052-602-4222

## ●8月1日・6日・15日は、オンラインでの参加も受け付けます。(受付開始 7月5日(日))

下記のサイトまたはQRコードからお申込みください。オンライン配信はZOOMを使用する予定です。招待メールは、各実施日の直前にお送りします。

<https://forms.gle/dfhX5KEd7vpEtysA7>

